

CS通信

訓子府町 CS・学校運営協議会

地域みんなで学校応援団
これまでのCS通信や学校運営協議会に
関する情報はこちらへ 《訓子府町HP》→



CS(コミュニティ・スクール) 第1回学校運営協議会の開催

今年度の第1回の訓子府町学校運営協議会を5月23日に開催しました。委員の自己紹介後、認定こども園から小中学校、高校の園長・校長より本年度の学校経営方針・重点目標等について説明があり、全て承認されました。



各校の今年度の経営方針が承認される！！

〈認定こども園〉こども園の現状と課題、今年度の重点を3点。

(1) 欠席連絡等にコドモンを使用しているが、保護者とはFace to faceで対応していく。(2) 家庭訪問は今年も実施する。人数が減ってきていることと、家庭環境を知ることで保育に生かすことができる。(3) 来年開園10周年を迎える。幼児、保育者、地域等の協力が必要。

〈訓子府小学校〉育成する重点はグランドデザインにある4つの力、協働する力、挑戦する力、人を大切にできる力、伝える力。次に学校経営の重点「温かな人間関係と「わかる」「できる」楽しい授業」をふまえる。更に、先生が育つシステムづくり、部活動(金管バンド)の地域移行についても議論が交わされた。また、給食は「嫌いなものも食べるように指導。しかし、無理に食べさせることはしない」不審者対応について意見をいただいた。他にもクマ出没の情報も大事だ。さらに野生生物との関りについても学校の中で学ぶ機会があればいい、という意見をいただいた。

〈居武士小学校〉グランドデザインの中の保護者・地域の願いの「思いやりの気持ちをもって生活する」を大事に今年に取り組む。さらに、心の育ちの「ポジティブに物事考える」、学ぶ力の育ちの「家庭学習習慣が定着する」、健康面の育ちの「基本的な生活習慣を身に付ける」この3点に絞って指導を行っていく。子どもたちにはGood Loser(より良い敗者)の話をした。子どもたちの中で課題解決をしていきましょう、という内容である。他には、地域交流(同じ小規模校との交流)や幼小中高乗り入れ授業等を活用しながら子どもたちを育てていく。

〈訓子府中学校〉今年度のグランドデザインを策定するにあたり、ゴールイメージ(目指す姿)を3点とした。ゴールを目指すため、今年度の重点を「的確に判断して行動できる生徒の育成」とあえて昨年度と同じとした。今の中学校世代にとって、「判断する力」と「行動する力」が特に必要と考える。経営方針の重点は3つ。「わかる授業づくり」「柔軟かつ機動力ある組織体」「生徒の成長を促す個に応じた指導体制」まずは、保護者や地域と連携し、学校運営協議会をもとに幼小中高が連携していく。ここがすごく大事。

*裏面に続く

◇令和6年度 学校運営協議会委員の皆様 ~よろしくお願ひします。~ 【敬称略】

認定こども園育友会会長 太田 昌利 (新)
居武士小学校後援会長 松本 大輔 (新)
認定こども園評議員 加藤 憲一 (新)
居武士小学校評議員 加藤 一俊 (新)
町内会連絡協議会会長 石田 敏明 【会長】
スクールサポーター 美馬 律子
訓子府小学校長 加藤 弘一
訓子府中学校長 橋本 正之
JAきたみらい訓子府地区事務所担当M 児玉 隆志 (新)

訓子府小学校PTA会長 杉山 正樹 (新)
訓子府中学校PTA会長 水留 亮(新)【副会長】
訓子府小学校評議員 森岡 勇一
訓子府中学校評議員 湊谷 克博
実践会連絡協議会長 越智 孝司 (新)
認定こども園長 牧野 喜充
居武士小学校長 相馬 一之 (新)
訓子府高等学校校長 金森 卓紀
訓子府町商工会副会長 谷口 武彦 (新)

〈訓子府高校〉今年度37名の入学、昨年度は23名と生徒数は順調に推移。これも訓子府町始め市民の皆様のご支援の賜物と考えている。教育活動の重点「授業規律の確立と基礎基本の定着」、「基本的な生活習慣の確立とモラル向上、いじめ防止」。基礎基本の徹底と「コミュニケーション能力の育成」が急務。中学時代欠席が多かった生徒も高校では登校してきている。「学び直したい」「やり直したい」という気持ちが強くなっている。他に、若い教員集団の教育力の向上のために研修活動の充実、仕事の能率向上を図っていく。

今年度の学校運営協議会は、あと2回予定されています。10月下旬には「前期の学校経営の評価と反省」についての発表と「今日的な教育課題についてのグループ協議」、2月には「今年度の学校経営の反省」と「学校運営協議会の活動のまとめ」について話し合う予定となっています。

◇ 今年度も「スクールサポーター」の活動が始まりました！ ◇



写真左上は、「居小朝の読み聞かせ」です。地域のサポーター4名が、1・2年生教室を訪れて絵本の読み聞かせを行います。年間9回の予定です。写真中央は「こども園種まき」です。銀河農園の畑にジャガイモの種イモを植えました。植え方を野菜倶楽部の皆さんが優しく教えてくれました。写真右は、「訓中・訓高の協働農作業」です。サポーターの齊藤さんご家族と石見さんご夫妻がタネイモ・タマネギの苗を提供してくださり、植え方を指導していただきました。中学生・高校生ともたくさんジャガイモとタマネギを給食センターに寄付しようと、張り切って作業を進めていました。写真左下が、「居小5年のもみ播き」の様子です。このあと、地域の島貴さんの水田で田植えを体験させていただきます。

今年度も多くのスクールサポーターの皆様のご協力で充実した学習活動が行えます。今後もよろしくお願いいたします。

今年度も多くのスクールサポーターの皆様のご協力で充実した学習活動が行えます。今後もよろしくお願いいたします。

～ できる時に、できる範囲で 安全パトロール ～

「ながら見守り」のお願い

地域の中で元気いっぱい成長していく子どもたち、でも、子どもたちの周りには危険がいっぱい！

登下校時や放課後に心配される交通事故、子どもたちに声をかける不審者などなど。また、ご家庭や学校で指導はされていても、危ない場所に立ち入ったり、危険な遊びをしてしまったりしてしまうこともあります。

多くの方が、さまざまな場所や時間に子どもたちを見守ってあげることで、事故や犯罪を未然に防ぐことができます。

普段の「犬の散歩」や「ウォーキングやジョギング」の途中、「買い物」の途中、「車の運転中」など、何かをし「ながら」で構いません。子どもたちを見守ってあげてください。危険な行為等を見かけたら、その場で注意してあげてください。そして、学校に連絡をお願いします。

